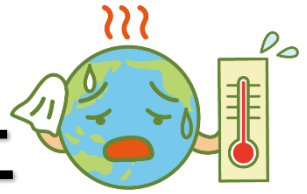




「おとなの食育トーク」2026 第1回

日本の食の未来



～進む温暖化と北海道農業 現状と対策～

2026. 7.11 (土) 13:30～15:30(受付 13:00～)

[会場] かでる2・7 510 会議室

(札幌市中央区北2条西7丁目)

[ゲスト] 下田 星児 氏

(農研機構・北海道農業研究センター

寒地畑作研究領域スマート畑輪作グループ グループ長)

[参加費] 一般 800円 自給ネット会員 400円

[定員] 30名(定員になりしだい締め切ります)

[締め切り] 7月8日(水)

[お申し込み・お問い合わせ]

TEL:090-2818-5502 FAX:011-789-8890

e-mail:info@jikyuu.net



※事前の申し込みをお願いいたします。



下田 星児 氏

プロフィール

北海道出身。2005年から農研機構に所属し、近畿中国四国農業研究センター(広島県福山市)で土壌への炭素貯留などの研究に携わり、2012年に北海道農業研究センター芽室研究拠点へ。冬の寒さを利用した人と環境に優しい持続可能な農業技術の開発や、生産シミュレーションを活用した農業技術の研究などに取り組んでいる。

涼しい気候を前提にした北海道の農業は、時代に合わせた工夫を続けています。気温の上昇により、作物を育てる環境は確実に変わってきました。夏の暑さや水不足だけでなく、春の雪どけの早まり、秋から冬への季節の変化も、何を作りどう育てるかに影響しています。変化を恐れるのではなく、理解し、備えることが、安定して食を支え続けるための鍵になると考え、これからの作物づくりと北海道農業の姿を考えていきます。

主催:NPO 法人北海道食の自給ネットワーク

7月11日「おとなの食育トーク」第1回申込書 (FAXの方は、このまま切り取らずにお送りください。)

氏名 _____

住所 _____

電話(_____)